

令和5年度 研究支援の概要

1 基本方針

- (1) 「教育研究」「学校支援」「教育情報収集・分析」の機能を積極的に連携させ、「知の拠点」としてのシンクタンク機能の充実を目指す。
- (2) 各研究支援領域に応じ研究推進校（センターによる校内研究支援対象校）を選定し、実践的な研究支援を基盤とした協同研究を推進する。また、研究推進校における成果を、授業改善等の具体例として県内に広く周知する。
- (3) 各種調査の結果分析を生かした研究、指導・助言の充実を目指すため、山梨大学等の外部機関との連携を図る。
- (4) 調査研究・研修・情報教育・相談支援に関わる本センターの業務、また、学校訪問時の指導の充実に向けた喫緊の教育課題や教科・領域等に関する研究及び研究支援を推進し、各指導主事の資質・能力の向上に資する。

2 研究支援主題

「新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援」

～求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方～

3 研究支援体制

- (1) 「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「相談支援」の3領域を設定し、チームによる協同研究を行う。
- (2) 「授業づくり・学校づくり」では、学校教育支援部を中心に小学校・中学校・高等学校の各チームを編成し、「情報教育」では、ICT教育支援センターを中心としたチームを編成する。
- (3) 「相談支援」領域については、「研究支援」の枠組みとは別に、相談支援センターとして学校現場からのニーズや専門性を踏まえた領域の設置を検討し、独自研究を進める。
- (4) 「授業づくり・学校づくり」では、研究推進校を2年間指定し、各校への研究支援を推進する。（小学校2校、中学校1校－山梨大学データ分析ワーキンググループ協力校、高校1校）「情報教育」では、単年度を基本とした研究推進校を指定する。

4 研究支援内容

- (1) 「授業づくり・学校づくり」では、校内研究会への支援をベースとし、職員意識改善・授業改善提案を通じ、新たな学びの姿に向けた授業改善（「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、学習者主体の授業づくり等）に関する協同研究を行う。
- (2) 「授業づくり・学校づくり」では、研究推進校の協力を得て、各種学力調査の結果分析を生かした授業改善のための支援を推進する。中学校の研究推進校では山梨大学と連携してデータ分析を行う。
- (3) 「情報教育」では、GIGAスクールにおける学びの充実（教員のICT活用指導力の向上、1人1台端末・高速通信環境の効果的な活用等）、教育DX推進に関する研究支援を推進する。
- (4) 「相談支援」では、相談支援センターとして学校現場からのニーズや専門性を踏まえた研究内容（特別支援教育、不応答、SOSの出し方、不登校等）を検討し、各領域の特質に合うテーマを独自に設定し研究支援を推進する。
- (5) いずれの領域においても、学校現場のニーズや課題に応じ、全県下の学校教育への実践的支援につながる取組を推進する。また、調査研究・研修・情報教育・相談支援等のセンター業務や指導主事業務の充実につなげられるようにする。

〈研究支援に関するお問い合わせ先〉

山梨県総合教育センター 調査研究課 (〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1456)
TEL 055-262-6180 (直通) FAX 055-262-5572 e-mail: kenkyuka@kai.ed.jp